

回 答 書

令和 8 年 8 月 25 日

入札参加者各位

下記の工事等にかかる質疑について回答いたします。

工事名等： 波賀中学校エレベーター棟増築等工事

質 疑 番 号	1	積 算 書 ペ ー ジ	12/92
仕 様 書 ペ ー ジ		図 面 番 号	A-39・S-08-1
質 疑 内 容			
[鋼矢板土留めについて]			
・ 鋼矢板Ⅳ型の最低リース長は8.0mとなります。Ⅲ型にて見積でよろしいでしょうか。			
仮設物構造として問題はないと判断します。			
・ 土質データによると玉石硬質地盤で貫入不能層があります。硬質地盤クリア工法にて			
見積しますが、圧入不能な場合はH親杭横矢板工法（打設：ダウンザホールハンマー			
工法）等に変更願います。その場合の機械損料・組立解体輸送費他は御負担願います。			
回 答			
・ 鋼矢板（シートパイル）長については、掘削高3.05m、根入深さ3.00m、合計6.05m			
程度の長さがあるⅢ型の仮設物を使用すること。			
※根入深さ4.05mから3.00mに訂正します。なお、A-39 土留断面計画図（案）を			
一部訂正しているため、ホームページを確認すること。			
・ 土留めは鋼矢板（シートパイル）工法にて見積を行うこと。			
また、現場にてシートパイル圧入不能と想定された場合は、監督員と協議を実施し			
変更対象とする。			